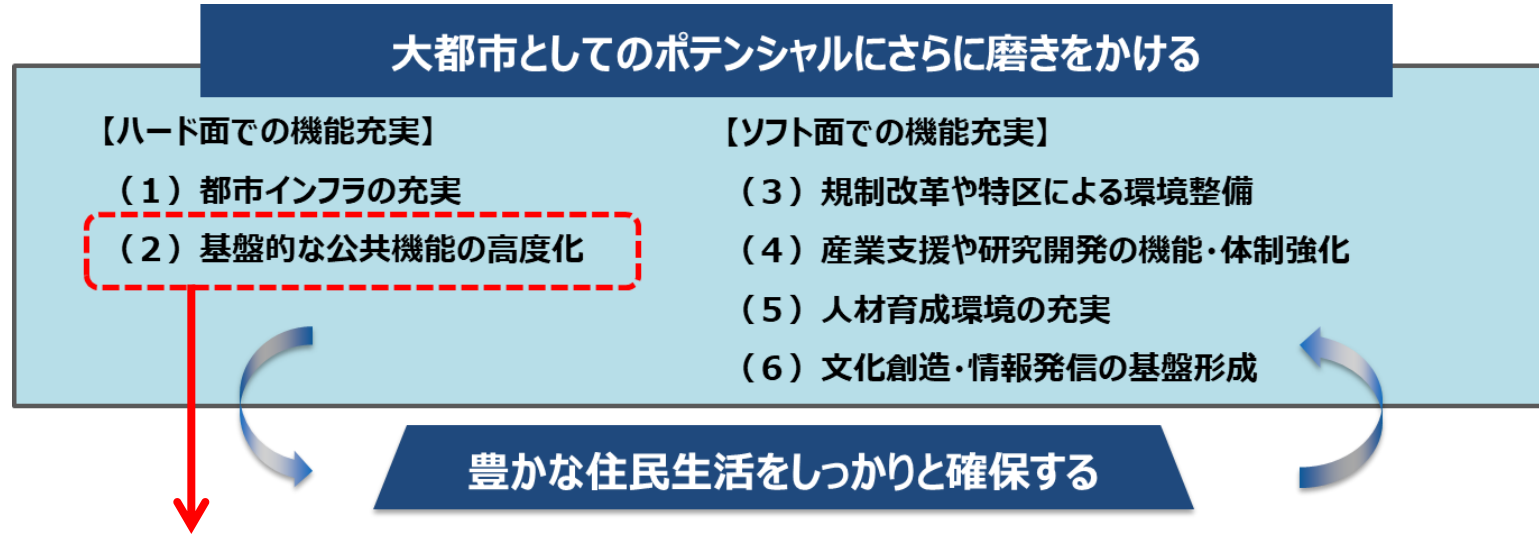


都市機能強化に向けた主な取組み

テーマ	進捗状況	期待される効果
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">基盤的な公共機能の高度化</p> <p style="text-align: center;">消防・防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 副首都推進局を中心に副首都としてあるべき消防・防災機能を検討（平成28年12月～） ※消防（消火等）は、第9回会議（平成29年6月）において検討状況を報告 → 救急機能について、本日会議において検討状況を報告 ✓ 「消防力強化のための勉強会」（府と府内市町村で構成）において、消防力強化のための方策を検討（平成28年9月～） 	<p>西日本の防災と、副首都大阪の安心・安全を支える消防力の確立</p>
<p style="text-align: center;">水道・下水道</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 府市の検討チームにおいて、副首都にふさわしい持続可能な上下水道のあり方について検討 ※水道は、第10回会議（平成29年8月）において検討状況を報告 → 下水道について、本日会議において検討状況を報告 	<p>住民が安心して暮らし、企業の経済活動を支える都市の生活インフラが、持続可能性をもって維持・発展</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">産業支援や研究開発の機能・体制強化</p> <p style="text-align: center;">中小企業支援団体（経営支援）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 府市及び大阪産業振興機構・大阪市都市型産業振興センターによる企業支援団体統合タスクフォースにおいて、副首都にふさわしい中小企業支援団体のあり方を検討（平成28年11月～） ※第7回会議（平成28年12月）において検討状況を報告 	<p>企業の持続的な発展を支え、新たな事業活動を生み出す力を高める機能を強化</p>
<p>※ 金融支援（大阪信用保証協会）・技術支援（大阪産業技術研究所）については、統合を実現済み</p>		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人材育成環境の充実</p> <p style="text-align: center;">公立大学</p> <p style="text-align: center; border: 1px dashed black; padding: 5px;">大学と行政の連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 府市及び府立大学・市立大学による新大学設計4者タスクフォースにおいて、新大学の姿などを検討（平成28年4月～） ※第10回会議（平成29年8月）において検討成果を報告 ✓ 大学統合による新大学実現へ向けた取組の推進を盛り込んだ府立大学の中期目標案の可決（平成28年10月 府議会） ✓ 府市議会へ法人統合関連議案を提出（平成29年11月府議会 可決、市会 継続審査） 【平成31年4月法人統合、平成34年4月大学統合を想定】 ✓ 府市及び府立大学・市立大学による都市シンクタンク機能タスクフォースにおいて、都市シンクタンク機能のあり方を検討 	<p>従来の大学の「教育」・「研究」・「地域貢献」の基本3機能に留まらず、「都市シンクタンク」・「技術インキュベーション」の2つの機能を強化・充実し、大阪の都市問題の解決と産業競争力の強化に貢献</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">副首都の実現に向けた大阪の都市機能強化を加速</p>

(参考) 副首都ビジョン (抜粋)

- 「消防」、「下水道」については、副首都ビジョンの中で、「基盤的な公共機能の高度化」を図るべきものに位置づけ



①安全・危機管理機能の強化

◆消防・防災

【取組みの方向性】

- 副首都としてあるべき消防・防災のあり方検討
(論点) ①西日本の危機管理と、副首都・大阪の安心・安全を支える消防力 ②首都機能バックアップ機能 など
- 大阪の消防力の強化
(論点) ①少子高齢化、人口減少、大規模災害などに対応できる大阪の消防力の強化 (広域化と消防本部間の水平連携強化の取組み検討)
②全国規模での応援活動が必要になる大規模災害時に備えるべき大阪の消防力 など

②生活インフラの最適化

◆水道・下水道・ごみ処理

【取組みの方向性】

- 住民が安心して暮らし、企業の経済活動を支える都市の生活インフラを、持続可能性をもって維持・発展させるため、下記の視点により、それぞれの生活インフラに応じた規模の最適化や、経営形態の見直しを行う。
- 人口減少に伴う需要減に対応するダウンサイジング
 - 施設・設備の老朽化に伴う更新コストの平準化
 - 自律的な運営と運営コストの抑制に資する経営形態の見直し
 - ゲリラ豪雨や巨大地震などの災害に強い生活インフラの実現